

<b>研究課題名</b>	胃炎の臨床的特徴についての検討
<b>研究の意義・目的</b>	胃炎の背景因子、内視鏡的特徴、病理組織学的特徴、合併疾患、長期経過、胃内細菌叢、生体代謝物について検討し、病態の解明を行うことを目的とします。
<b>研究を行う期間</b>	2020 年 12 月 23 日～2030 年 3 月 31 日
<b>研究協力を お願いしたい方 (対象者)</b>	2007 年 4 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日までに大阪公立大学医学部附属病院で、A 型胃炎、ヘリコバクター・ピロリ感染性胃炎、ヘリコバクター・ピロリ未感染と診断された方が対象となります。
<b>協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目</b>	日常診療の過程で得られた下記のカルテ情報を本研究に使用させていただきます。また、抗胃壁細胞抗体、抗内因子抗体、ガストリン、ペプシノゲンの血液検査項目を業務委託機関において測定し、本研究に使用させていただきます。 診療情報：年齢、性別、身長、体重、腹囲、嗜好歴、基礎疾患、既往歴、常用薬、血液検査所見、内視鏡検査所見、病理組織学的所見、24 時間胃内 pH モニタリング所見、生理検査所見、放射線画像所見 過去にご協力いただいた研究「消化管疾患および全身性疾患における消化管フローラの構成解析と病態への関与」(承認番号 2413) でご提供いただいた試料と、一部の研究対象者から新たに採取する試料を用いて、業務委託機関において胃内細菌叢の解析と生体代謝物の解析を行い、本研究に使用させていただきます。 試料：胃粘膜組織
<b>試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)</b>	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
<b>試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</b>	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行います。 【研究代表者】 大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 大谷 恒史 【業務委託機関】 胃内細菌叢の解析(マイクロバイーム解析)：東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 生体代謝物の解析(メタボローム解析)：ヒューマン・メタボローム・テクノロジー株式会社 抗胃壁細胞抗体、抗内因子抗体、ガストリン、ペプシノゲン測定：株式会社SRL
<b>本研究の 利益相反</b>	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。本研究は教室研究費を使用して行います。利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。
<b>研究に協力を したくない場合</b>	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
<b>連絡先</b>	大阪公立大学医学部附属病院 消化器内科外来 (担当者氏名) 大谷 恒史 電話番号：(06) 6645-2316